



〈鶴ヶ島市立藤中学校だより 第10号〉

学校教育目標

ともに学び、未来を拓くたくましい生徒の育成

藤中だより

保護者・地域に信頼される学校を目指して

〈目指す生徒像〉

- よく考え工夫して学ぶ生徒(知)
- 人と自分を大切にする生徒(徳)
- 心と体を粘り強く鍛える生徒(体)

令和7年12月24日 校長 竹田 聡

### ＜令和7年の終わりに＞

日頃より、本校の教育活動にご理解ご協力いただきありがとうございます。また、3者面談にもご多用のところお越しいただき、感謝申し上げます。

2学期も予定された学校行事、部活動の大会を終えることができました。心配されたインフルエンザも下火になったようです。ただ、状況によっては、冬季休業中の部活動で急な変更も予想されます。変更があった際には、ご協力をお願いします。

最後に、3学期が円滑に始められるように、健康と安全への配慮をよろしくお願いします。例年、冬休みは、金銭やネットトラブルが増加する傾向にありますので、ご家庭でも注意してください。

### ＜2学期終業式 学年代表の話＞

#### 1年生代表

今日で2学期も終わりです。みなさんは、今学期を振り返り、何を思いますか。2学期は、合唱祭がありました。上手かったこと、いかなかったこと、どちらも含め、成長につながるきっかけとなったのではないのでしょうか。

私はそんな合唱祭を通して、『本質を見極める』ことの大事さを実感しました。みんなで共有できる時間は限られています。そのため、やみくもに取り組むのではなく、当日に向け要点を整理すること、計画を立てて活動することが不可欠だということを痛感しました。これは合唱祭などの行事だけでなく、学校生活の全ての場面で大切なことです。大事なポイントや目的、本質を一人ひとりが意識し、心がけ、今後の学校生活に生かせれば、より一層高め合っていけると思いました。

もう一つ、私はこの2学期の生活の中で、最大の課題を見つけることができました。それは、『他責思考に気付く』ということです。私は、主観にかたよらず、客観的に物事を見る力を付けたいと思っています。まわりのせいにするのではなく、まず自分を振り返ることが大事だということです。例えば、にぎやかなクラスの雰囲気も、「うるさい」という悪い捉え方をするのではなく、「意見を活発に出し合える良い点」と捉え、プラスに考えることもできます。物事に対し客観視できれば、良い点に気づくことができるのです。

クラスのみんなが良い点に気づき、同じ方向を向くことができれば、クラスは大きく成長できると思います。私は、学級委員としてクラスをもっと客観的に見ることを心がけ、ポジティブにクラスが進化できるよう頑張ります。

今、1年生の課題として挙げられることの一つに「メリハリ」があります。これはクラスだけでなく、学年全体の課題です。気持ちや行動を、状況に合わせてうまく切り替えることができれば、必ずより良い方向へ向かうと思います。

3学期の生活ではみんなで気付き、意識し、「メリハリ」ある生活の中で2年生への進級に向かって更に成長し、頑張っていきたいです。

#### 2年生代表

私には、今年度の2学期を振り返って3学期に繋げたいことが3つあります。

1つ目は、学習です。計画と実行、その2つが共に苦手な私は、行き当たりばったりな、なんともおなごりな計画を立て、1学期期末から2学期中間、そして2学期の期末と大きく点数を落としてきました。その悔しさをやる気に変換し、次の学年末テストへ向けて、日々コツコツと取り組んでいきたいと思っています。

2つ目は、部活動です。私は剣道部に所属しています。仲間と共に和気あいあいと、メリハリを付けて日々部活に取り組んでいましたが、私は10月頃に開催された新入体育大会で、午後に残るための大事な団体試合で負けてしまいました。また、その敗北を引きずってしまい、翌日の個人戦でも良い結果を残すことは叶いませんでした。私はこれからの部活動で、緊張やプレッシャーに負けないよう、そして「自分なら勝てる」という自信を持つために、より一層気合を入れて部活動に臨みたいと思います。

3つ目は、委員会活動です。私の所属する学級委員会では、修学旅行という3学期にある一大イベントに向けて活動しています。

私達2年生の課題はやはり、時間に対する意識が低いことです。2分前着席をしようという意識は感じられないこともないですが、まだまだ個人の範囲です。合唱祭期間のように、個々が団結して一つの課題に取り組もうとしなければ、改善されることはないでしょう。学級委員という責任のある立場を任せていただいた私は、「時間への意識」という課題に真摯に向き合わねばなりません。ですが、そのためには皆さんの協力が必須です。

明日から冬休みが始まりますが、その間しっかりと時間管理をしてみませんか。「部活の時間に遅れない。」「友人との待ち合わせに遅れない。」「そのような小さなことでも積み重ねていけば、知らず知らずのうちに意識が高まっていくと思います。2学年全員で団結して3学期の一大イベントに臨みましょう。

### 3年生代表

私は2学期に頑張ったことが2つあります。  
1つ目は学習です。2学期の学習では、特に質問力をつけることを意識して取り組みました。これまでは、わからないところがあってもそのままにしてしまい、似たような問題が出たときに解くことができなかったりと最後まで理解して自力で解くことができませんでした。そのため思うようにテストで点が取れず焦りを感じることがありました。そんなときにクラスの子が先生に質問をしたり、友だちに聞いたりして理解を深めている姿を目にして、私もやってみようと思いました。先生に聞くことは正直怖かったのですが、どの先生もとても優しくわかりやすく教えてくださいました。そのためどの教科も理解を深めることができました。質問することは自分の苦手と向き合うことになり、苦手な部分が分かるから学びを深めることができました。そのため、私は質問力がとても重要だということを実感しました。今後も難しい問題やわからない問題も多く、自分の力だけでは解けないものもあると思うのでこれからも質問できるようにしたいです。

2つ目は生活面です。私は3年生になって初めて学級委員を務めました。学級委員は思った以上に大変な仕事が多く、クラスをまとめる難しさを実感しました。3年生の目標を「受験を見据え、時間への意識を高める」とし、始めた「朝8時27分までに着席し読書を開始する」というキャンペーンでは、はじめの頃は8時半に教室に入ってくる人がいたり読書が始められていなかったりと課題点がたくさんありました。しかし、タイマーを活用したり声掛けを定期的に行うことで今ではほとんどの生徒が朝読書の時間を有効に使うことができています。クラスの課題を見つけ、解決のために話し合いを重ね、それをまとめて実行することは私にとって大変なことでしたがやりがいを感じました。

私たち3年生は受験がもうすぐ目の前です。分け与えられた時間は平等です。だからこそ、1秒でも長く有意義な時間を作れるよう意識を高めていきましょう。今頑張った分だけ必ず笑顔になれるので悔いの残らない冬休みを過ごし、3学期には194人全員が笑えるようにしましょう。

### <生徒の活躍>

#### 第34回関東中学校駅伝競走大会

男子 第6位 (4区)【区間賞】 女子 第3位 (4区)【区間賞】

#### 第33回全国中学校駅伝大会 女子の部 第5位

郷土を描く児童生徒美術展 特選 3名 入選 3名

☆冬休み中に何かありましたら、12月25・26日、1月5～7日の8:20～16:50は藤中学校、それ以外は、鶴ヶ島市役所(049-271-1111)経由でお問合せください。

☆不審者につきましては、速やかに110通報または西入間警察署(049-284-0110)へご連絡ください。

### <校長の話(概要)>

2学期の始業式で、「切り替えを早く」、「健康で安全な生活」、「見通しをもつ」の3つのことを期待すると話しました。これらの3つは、生活の質を上げるために大切なことですから、2学期が終わっても継続してください。

学校全体の活動から2学期を振り返ると、文化祭、合唱祭など、学校行事は上級生がしっかりと手本を示してくれたと思います。部活動では運動部の新人体育大会、吹奏楽部のアンサンブルコンテスト、駅伝大会があり、それぞれに成果をあげていました。2学期に予定されていた行事や校外の大会等ができたことに、安堵するとともに嬉しく思います。学校行事や大会ができることは、決して当たり前のことではありませんので、感謝の気持ちを大切にすると同時に、悔いを残さないために、できるときにやり切ることを心がけてください。

今年度は、女子駅伝部が全国大会に出場しました。全国大会の出場に際し、保護者の他に、地域や市役所の方々など、たくさん方から寄付や募金をいただきました。特に、卒業生や卒業生の保護者の寄付がたくさんありました。寄付に来られた方から「藤中は頑張っている部活がたくさんあり、活気があっていいですね。」と言われました。私は、「ありがとうございます。文化祭・合唱祭の学校行事も盛り上がり、活気がありますよ。」と答えました。皆さんも藤中はたくさんの方から応援されていることを理解してください。

2学期の終わりにあたり、学習面の反省を挙げている人も多いと思います。作家の司馬遼太郎さんは、「教育で大切なことは『自己開発』と『社会的存在』の両方を行うことで、自分の可能性を広げ、社会の中で自分の居場所を創ることである。そのために、互いに認め合い、共に生きる道を見つけるきっかけを探ることである。やらされる勉強では必ずしもうまくいかない。それでも、社会的な自分と折り合いを付ける必要がある。これが最終的に教育で大切なことだ。」と言っています。私は的を射ていると思いますので、このような視点からも学習を見直してみましょう。

最後に、年末年始のテレビでは、お笑い番組がたくさん放送されます。前にも話したように、イジリはいじめにつながりますので、お笑い番組のイジリを学校に持ち込まないようにしてください。それでは冬休みを心身ともに健康に過ごし、3学期が気持ちよくスタートすることを期待しています。